

平成 29 年度 第 1 回 昭和大学病院 医療安全外部監査委員会 議事録

日 時 平成 29 年 8 月 28 日（月）午前 9 時 55 分～午前 11 時 45 分

場 所 昭和大学病院中央棟 7 階会議室

出席者 監査委員

三宅弘人委員長（弁護士）、越石孝一委員（患者代表）、高橋寛委員（昭和大学藤が丘病院病院長）、

病 院 側

板橋家頭夫病院長、大嶽浩司クオリティマネジメント室長（副院長）、小林洋一医療安全管理責任者（副院長）、城所扶美子看護部長、丸地伸事務部長、佐々木忠徳薬局長代行、根本友重医療安全管理者、二瓶友美医療安全管理者、野田秀裕医薬品安全管理責任者、大石竜医療機器安全管理責任者、中村武彦管理課長、久保田浩司クオリティマネジメント課長、嘉本敏子クオリティマネジメント係長、田丸直樹医療安全部門専任事務

議 事

1. 開会にあたり、病院長から当委員会設置の趣旨について説明があった。

2. 委員ならびに病院側出席者の紹介があった。

3. 監査事項「医療安全管理体制について」

病院側から医療安全管理対策マニュアルに基づいて以下の説明があった。

1) 医療安全管理指針について

①昭和大学病院の医療事故等の防止・安全管理のための指針について

②説明と同意の指針について

2) 管理体制について

①委員会・組織について

②インシデント・アクシデント、医療事故発生時の対応について

③医薬品安全管理の概要

④医療機器安全管理の概要

4. 質疑応答

1) 組織図上では、医療安全管理部門がクオリティマネジメント室の下に設置されているが、両部署の位置づけが不明である。

【病院側回答】

クオリティマネジメント室は「医療安全管理部門」だけでなく「感染管理部門」、「医療の質の管理」を統括管理する部署として設置されている。よって、クオリティマネジメント室長は医療安全管理・対策委員会において医療安全管理部門からの事例報告や再発防止策の提案に対して助言を行っており、両部署は密接に連携をとり協働している。

2) 医療安全管理・対策委員会と医療安全管理部門との役割分担が不明である。

【病院側回答】

医療安全管理部門は専従の医療安全管理責任者、医療安全管理者を中心に迅速な事例の把握や事実確認と発生要因の分析を行い、医療安全管理対策委員会に報告している。同委員会委員長は病院長が務めており、検討された再発防止策を委員会で審議し、組織的に院内に周知徹底を図っている。

3) 「医薬品の安全使用のための業務に関する手順書」に所管が明記されていない。

【病院側回答】

改訂する。

- 4) 医療機器安全管理委員会の組織図と当委員会内規の委員構成に整合性がない。

【病院側回答】

改訂する。

- 5) 医薬品安全管理に関する検討はどの委員会で行っているのか。

【病院側回答】

医薬品安全管理に関する事項については、医療安全管理・対策委員会で報告、検討している。

- 6) インシデント事例の検討を月 1 回で開催しているテーマ別分科会で行っているが、事例対応の迅速性は担保されているか。

【病院側回答】

テーマ別分科会ではインシデント事例（患者に直接影響を及ぼさないような事例）について改善策を検討している。ただし、早急な対応が必要だと判断されるインシデント事例については速やかに事例検討会を開催し、迅速に病院長へ報告できる体制としている。

- 7) 抗がん剤取り扱いにおける被ばくに対する手順書はあるのか。

【病院側回答】

「がん薬物療法マニュアル」に手順を明示している。

5. 今後の進め方について

次回以降は、医療安全に関する具体的な取り組みや統計データ報告等について取り上げていくこととした。

6. 次回開催について

今回は平成 30 年 1 月～2 月頃を開催予定とし、改めて日程調整することとした。

以 上

議事録作成：管理課 中村武彦